

改善意見等に対する改善状況等報告書

大学名：山梨学院大学

①AC対象学部等名

認可・届出の別	開設年度	学部名称等	学科名称等	専攻名称等
認可	H27	国際リベラル アーツ学部	国際リベラル アーツ学科	—

②改善意見等に対する改善状況及び改善計画

	意見	現時点での状況	改善状況	今後の改善計画
1	○ 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	対応中	<p>平成29(2017)年度入試において十分な入学者を確保し定員充足率を改善するために、本学全体の入試広報のあり方を見直すとともに、本学部の魅力を直接、高校生に伝えることのできるイベントを重点的に実施することを計画している。</p> <p>まず、本学が主催する入試広報を目的としたイベントの詳細を早期に決定し、広報を開始する時期を早めることによって、それぞれのイベントの告知期間を十分に確保し、より広範囲な情報発信ができるように工夫する計画である。加えて、「英語による授業の受講と1年間の海外留学の義務付け(必修)」という本学部の教育内容とその魅力を実感し、潜在的な志願者が出願と入学を決意する契機となるような体験型のイベントの実施回数を増やすことで、入学者の確保に努めることにしている。</p> <p>本学全体の入試広報の早期開始については、入試日程や入試広報イベントの実施要領をすでに決定しており、新年度を迎えてすぐに周知できる準備を整えている。新年度4月には、学生募集・入試広報に係るホームページ等の情報の更新を行うだけでなく、本学の役職者が山梨県内の全ての高等学校を訪問して、上記の情報を告知することになっている。5月以降は本学への入学実績が多い、近隣の都県の高校訪問に移行し、7月と8月に予定する規模の大きなイベントの実施前には、例年よりも広範囲な広報を完了する計画である。これにより、オープンキャンパスなどの高等学校の夏季休暇直前から本格的に展開される入試広報イベントまでに、これらに関する情報が十分に伝達され浸透するように万全を期したい。(つづく)</p>

	意見	現時点での状況	改善状況	今後の改善計画
2	<p>○ 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 (つづき)</p>	改善意見	対応中	<p>(つづき) さらに、グローバル系学部への進学や、グローバル教育・英語教育に力を入れている高等学校への訪問を行い、本学部の教育について、高校生や高等学校の現場に認知してもらえるよう継続的に広報を続けてきた。開設初年度となった今年度中は、関西地域の高等学校にも範囲を拡大し、本学部の存在を認知してもらえるよう活動してきた。</p> <p>以上のような、学部の認知度を向上させる取り組みに加えて、高校生に本学部での学びの魅力を体験してもらうため、英語担当教員と日本語教育担当教員による英作文と日本語小論文の能力向上を目的とした講座や、英語での授業体験と英語によるプレゼンテーションのトレーニングを内容とするキャンプ、さらにスーパーグローバルハイスクール(SGH)の校外学習を受け入れ、本学部で英語の模擬授業を体験し外国人留学生と交流する機会を提供するなど、高校生に直接、学部の魅力を体験してもらえるイベントも実施した。</p> <p>(つづき) また、入試要項が完成した後、高等学校で進路指導や推薦の決定が行われる時期にも再度の高校訪問を実施して、入試制度の説明を行うことで、それまでの入試広報が実際の出願へと結び付くように情報発信を継続する計画である。</p> <p>本学部の魅力を潜在的な志願者に体験してもらうため、今年度中にもそれぞれ1回実施した「英作文と日本語小論文の入門的な講座」、「英語による授業(模擬授業)体験」、「国際学生寮への宿泊体験」などを内容とするキャンプを、複数回実施する計画である。「英作文と日本語小論文の入門的な講座」については、本学部の入学直後に行われる「入門的な学習」を体験することで、出願への意欲を高めることを目的として実施するイベントである。このため、入学試験が開始される以前から受講の機会を確保し、高等学校の夏季休暇期間中、あるいは休日に、酒折キャンパス(甲府市)と東京会場のいずれにおいても受講が可能となるように体制を整える予定である。また、宿泊体験型のキャンプでは、本学部内に在籍する日本人学生が外国人留学生と共同生活を送る「国際学生寮での宿泊体験」を通じて、さらには英語力を高めるための集中的な授業プログラムの体験や実際の授業の見学、学部長によるリベラルアーツ教育の解説などを通じて、正課内・課外活動の双方による「国際的な学修環境」を有する本学部の魅力を伝え、実体験を通して浸透させることを目的として実施する。これらの実施に際しては、十分な広報機会を確保することで、より多くの参加者が得られるようにする計画である。</p> <p>上記の計画を着実に実施することを通じて、平成29(2017)年度入試においては、十分な入学者を確保できるように努めることにしている。</p>
3				